

みなさんの家の近くには、どんな「公園」がありますか？
 ジングルジムやすべり台がある公園、スポーツができる公園、きれいなお花の咲く公園など、いろいろな公園があります。
 遊び場やいこいの場である「公園」は、地震、津波、洪水、火事などの**災害時**には、ふだんとは異なる役割で、みなさんを守ります。

●火事が広がるのを防ぐ！



阪神・淡路大震災(平成7年)で発生した大規模な火災の焼け止まりとなった公園

木でできた家が多い日本では、火が発生するととなりの家に燃え移ってしまいます。
 地震の後に発生した火事は、すぐに消防車が来られないために、どんどん燃え広がり**大規模な火災**になってしまいます。
 「公園」は、広い場所があることで火が燃え移るのを防いだり、燃えにくいみどりが火事が広がるのを防いだりしています。

クイズの答えは、**イチョウ**です。

道路の街路樹にもイチョウは多く使われています。

●クイズ！！

一番、燃えにくい木はどれ？

クリ・ウメ・イチョウ・ケヤキ

国総研では、**燃えにくい木の研究**をして、防災に役立つ公園づくりを進めています。

●災害時の避難(ひなん)場所

「公園」の**広場**は、**地震時にモノが落ちてきたり、たおれてきたりしません**。

高台の「公園」は津波から人々を守ります。

このように「公園」は、「**避難場所**」の役割を持っています。

熊本地震(平成28年)では、余震が続く中、安全な避難場所として、また、車で過ごす人達等の一時的な避難生活の場として、公園が利用されました。



かまど？

災害時に備え、食事を作るためのかまどに変身するベンチを設置している公園もあります。



【写真：東京都HP】